

6月21日(水)午前17時30分 CRT スタジオで収録

高校歴史総合の内容と効果の上がる学習方法を考える

開倫塾

塾長 林明夫

1. (1) 高校の教育課程が大幅に変更になり、社会科では「歴史総合」が導入され大きな話題を呼んでいます。

(2) いままでは、日本史、世界史を、古代から現代まで順序よく、学ぶという方式でした。

(3) これを、日本史と世界史を関連づけ、世界史の中で日本史をとらえようとするのが「歴史総合」です。

○そこで、本日の開倫塾の時間では、今、話題の「高校歴史総合の内容、その効果の上がる学習方法」を皆様とごいっしょに考えてまいりましょう。



2. (1) 古代からの通史ではなく、主に近代現代を扱うのが「歴史総合」です。

(2) また、現代に生きる私たちの社会の在り方や、直面する課題について考えるという観点から歴史を観るのが「歴史総合」です。

(3) しかし、「歴史総合」を学ぶには、「歴史総合」の教科書を学ぶだけではならず、従来の、「日本史」「世界史」の、近代・現代、つまり、日本史であれば、18世紀の江戸中期・明治維新から現代まで、世界史であれば、18世紀のフランス革命から現代まで、中国であれば17世紀のはじめ清王朝から現代までを、しっかり学ぶことが求められます。



3. (1) つまり、1700年ころの近代から、現代までの約300年間の、「アメリカ・太平洋」「西ヨーロッパ」「東ヨーロッパ・ロシア」「西アジア・アフリカ」「南アジア・東南アジア(中国・朝鮮)」など各地域の歴史と、日本の歴史を重ね合わせて学ぶのが「歴史総合」です。

(2) 「世界地図」も、近代から現代まで、時代によってどんどん変化します。ですから、大切な地名は、各地域の「年表」とともに、その時代の「世界地図」で、いちいち確かめることが大切です。

(3) 現代的な課題は、毎日発行される新聞、できれば「全国紙」で把握し、その歴史的背景を「歴史総合」の観点から考えると、現代の課題解決にも役立ちます。



4. (1) 高校入試や中学入試にも、この「歴史総合」の考え方が、今後は大きく影響すると思われます。

(2) ですから、今までの、日本史中心の「中学歴史」に加え、この高校「歴史総合」の教科書や参考書で近代から現代までをより深く学ぶと、難関校の高校入試、中学入試に対応できると考えられます。

(3) 高校生だけでなく、歴史好きの中学生や大学生、社会人にも素晴らしい教材と確信します。



5. (1) ではどのように「歴史総合」を学んだらよいでしょうか。

(2) 高校「歴史総合」を学ぶ際にも、「マンガ日本史」「マンガ世界史」は、とても役立ちます。まずは、マンガで、日本と世界の近現代史を、何回も読み、近現代史の流れをよく理解することをおすすめします。

(3) 「マンガ日本史」、「マンガ世界史」で、近現代史をよく理解してから、「教科書」や「参考書」をお読みになることを、おすすめいたします。



6. <まとめ>

(1) 世界史の中で日本の近代・現代の歴史を考える高校「歴史総合」は、とてもためになり、役立つ科目です。

(2) 是非、高校生はもちろん、中学生、大学生、社会人も御挑戦くださいますようおすすめいたします。

(3) 是非、高校「歴史総合」の教科書や参考書を手にとって、御覧ください。



7. 最後に一言

(1) この高校「歴史総合」を学ぶ際にも、一度学んで、その内容をよく理解できたところまで学校の教科書や参考書を、「スラスラよく読める」ようになるまで「音読練習」をすることで、その内容が身に着きます。

(2) また、大切なところは、何も見ないで言えるまでにすること。正確に書けるまで「書き取り練習」をし、「暗記」することが大切です。

(3) 「音読練習」と「暗唱」、「書き取り練習」と「暗記」で、テキストを正確に覚えると、確実に身に着きます。定期テストや入学試験でよい点数が取れます。歴史総合が身に着き、一生役に立ちます。大好きになります。

